



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「フットパスによるまちづくり 地域の小径を楽しみながら歩く」

神谷 由紀子 編著(水曜社)



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



おそらく「フットパス」という言葉を耳にした方は少ないのではないのでしょうか。今回は、そんな聞き慣れない言葉の本を紹介します。フットパスを簡単に一言で表すと、「森林や田園地帯、古い町並みなど、昔ながらの風景を楽しみながら歩くこと」です。本書は、イギリス発祥のフットパスをベースに、地域特有の風土と絶妙に調和させ、地域活性化に成功した市町の取り組み事例や、後半部分では、フットパス作成のノウハウやコースの作り方が紹介されています。フットパスは観光面の効果が期待されるのはもちろん、農業や商業など、さまざまな波及効果が現れます。

本書から、ノスタルジーを感じるような風景であったり、地域の方とのふれあいであったり、人の心を豊かにするような、そんな気持ちにさせられる感覚、そしてフットパスに対する筆者の情熱が伝わってきます。みなさんもこの機に御一読してみたいはいかがでしょうか。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

館林市 商業観光課 貝瀬 康斗



貝瀬 康斗さん(右から5番目)



講座の様子

私は平成27年度に「パートナーネットワーク講座」を受講し群馬県まちづくりファシリテーターに認定していただきました。ファシリテーターは、ワークショップの開催・進行にあたり、参加者の意見を上手に引き出したり、議論を円滑に進めたりする補助者、調整役です。前年度までに諸先輩方がこの講座を受けていたので、なんとなくはどんなものか分かっていましたが、講座の中でいざファシリテーターの役割を担うとその難しさを痛感しました。主張が強い人もいれば、そうでない人、意見を補足する人などがおり、分け隔てなく意見を吸い上げて議論を進めるのは非常に難しいものでした。

さて、館林市はうどんのまちとして有名ですが、うどんのまちを市内外にPRする「麺のまち「うどんの里館林」振興会」が存在します。私が現在所属している商業観光課はこの振興会の事務局となっており、各会員さんの声を聞きながら振興会事業を推進しています。ワークショップとはかたちが違えど、各会員さんの意見を引き出すということに変わりはありませんので、分け隔てなく意見を吸い上げ円滑に事業が進められるように尽力しています。

この講座で学ぶことはワークショップだけでなく様々な場面で活かすことができるので、ぜひ多くの方に受講していただきたいと思います。

マーチィの掲示板

国土交通大学校に行ってきたよ!

こんにちは。群馬県都市計画課都市計画係の高野と申します。
2016年9月26日から10月7日までの12日間、東京都小平市の国土交通大学校で土地利用計画研修を受講いたしました。

研修では、都市計画法やそれに基づく制度や手法、関連法制度に関する講義が数多くあり、全国各地での事例を用いたとても興味深いお話を伺うことができました。また、都市計画と他分野との関連を広い視野で見ることができたように思います。

講義だけではなく班別ゼミナールもあり、実在の都市を事例に立地適正化計画を考える、といった実践的な課題研究も行いました。様々な自治体の職員と意見を交わすことで、県外地域の状況や新たな考えや発想を知り、とてもよい刺激を受けました。また、約60名の研修員との交流も大変貴重なもので、全国各地から集まった研修員との交流を通して多くのことを学ぶことができました。

私は昨年度より都市計画の業務に携わっておりますが、日頃の業務の中で十分理解できていなかった都市計画の法制度や考え方を改めてじっくり勉強することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。ここで学んだことをこれからの業務に生かしていきたいと思っております。

